

第7回 中目黒駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成16年3月5日（金）19:00～20:45

場所：目黒区総合庁舎 1階 E会議室

1. 開会あいさつ 目黒区都市計画課 計画担当課長
2. 目黒区交通バリアフリー推進基本構想（案）に関する説明 目黒区都市計画課
3. 中目黒駅周辺地区 基本構想（案）について意見交換

参加者からの意見 ・ 目黒区からの意見

放置自転車以外にも店舗の看板もバリアフリーを阻害している。

- ・ 商店街や店舗でも自主ルールを作って自主的に守ってほしい。
- ・ 勧告すると看板等はなくなくなるが、いたちごっこの状況。屋外広告物条例等に即して対応していきたい。パトロールなど行っているが、あまり効果がないのが現状である。

山手通りの歩道のバリアフリー化とは、具体的にはどのような内容なのか？

- ・ 歩道の幅員を拡げて5mとし、セミフラットの構造にする。
- ・ 車道と歩道の段差は大きな段差のないように2cmとし、差点部は、「スムーズ歩道」とする。また、歩道の勾配もできるだけゆるやかなものとする。
- ・ 工事予定のない区間については、部分的に改修する予定である。

山手通りの整備に合わせてガードレールはつくのか？

- ・ 確認する。

商店の看板について、罰則の対象となる実例があれば知りたい。記録しておいて罰するという方法は可能か。

- ・ これまで罰金をとった例はない。
- ・ 基本的には通報を受けて、区が勧告を行い改善してもらうことになっている。

以前の資料から変わった部分（例えばやわた歩道橋の改善など、落ちた理由とその後の扱い）はどうなるのか？

- ・ 実現に向けて、いくつかの方法を検討してきた。
- ・ やわた歩道橋については移設場所（新たな用地取得、移転先の了解）、財源など多くの問題があり、特定事業から除き、代替するルートを設定した。

すぐにはできなくても、バリアフリーのために必要な事業もあるのではないか。「将来的に継続的に取り組む」ということと、その事業のリストは報告書に文章として記述しておいた方が良い。

- ・ 今回のまとめは、交通バリアフリー法に基づく基本構想であり、都市計画マスタープランの中では、福祉のまちづくりについて項目を入れてある。歩道の拡幅など長期的に取り組むものは、都市計マスタープランの中に盛り込んでいく。
- ・ また、特定事業ではなくても、主要経路事業として取り組んで行く。

まち歩きなどで出た意見の対応はどのようにしていくのか？

- ・ 資料編の中で意見は整理し、事業を実施する時に活かしていく。

すでに整備されている視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）について、改善が必要なところがあった。区の職員も変わるので、文章として残しておいてほしい。

- ・ ご指摘の個所は、今後改善していく。

中目黒 GT の交通広場にはタクシー乗り場があるのに、駅前から乗ってしまう。きちっと指導してほしい。

- ・ 警視庁ではパトロールをしている。
- ・ タクシー業界に対して再度働きかけていく。

「駅との連続性がない」とは、どういう意味か？

- ・ 2つの駅にまたがって経路としている道路がつながっていない区間について、計画としてつなげるべき、という意味である。

まちづくり通信は、中目黒にはないのか？内容がわかりやすいので、このような会議にも参加したいという気になると思う。

駒沢通りのガソリンスタンドの前で、車が停まっていると一端道路に出なければならず、危険である。

- ・ 警察と協力して駐停車車両に対応していく。

ハードだけでは十分とはいえない。「心くばり」など人の対応も重要なので、「心のバリアフリー」への取り組みについても触れた方がよい。例えば、障害者等にどういった対応をすればよいのかといった講習会を催す、など。他の計画との連携などについても触れてほしい。

- ・ 重要性は理解しており、大きな方針として人的介助などについて本文中で触れている。
- ・ 来年度は、バリアフリーのマップづくりも行っていく予定である。

懇談会ではテーマが各地区だけに限定されており、構想全体が見えず、どの時点で何を言えば良いかわからない。また、協議会の中に区民代表が入っている方がいいのではないかと。区民意見の聞き方と反映の方法について工夫してほしい。

- ・ 各種団体へのアンケート・ヒアリング、地域住民を対象とした懇談会など、いろいろな方法で意見を聞いてきている。それらを取りまとめて、協議会へ伝えていくという方法をとった。

協議会に区民が参加しておらず事業者だけで議論を行っているが、特定事業を第三者的に評価しているのか。

- ・ 協議会は事業を調整するための会議との置付けで検討を進めてきた。
- ・ 事業計画の作成段階においても、区民の意見はお聞きし、計画の見直しも行っていく予定である。引き続き、事業の進捗を見ていただきたい。

4. 閉会あいさつ 目黒区都市計画課 計画担当課長

以 上